

日本風俗史学会報 710号
〈27年8月〉

日本風俗史学会報 710
27・8

■メールマガジン登録のお願い

本学会では、メールマガジンによる情報配信システムを立ち上げています。

今後は、従来のハガキから、できる限りメールによる情報提供に切り替えて参ります。

既にたくさんの方からご登録をいただき、経費節減にご協力をいただいております。メールができる方で、まだ登録を済ませていない方は、この機会に是非とも本学会のホームページより「メールマガジン登録」の手続きをしてくださるようお願い申し上げます。なお、手続きの流れは、以下の通りです。

学会ホームページ ↓ メールマガジンの登録画面 ↓
必要事項の入力 ↓ 事務局で会員確認（1週間程
いただきます） ↓ 配信の手続き作業 ↓
登録完了のメール

日本風俗史学会 <http://www.fuzokushi.jp>

〒161-8539 東京都新宿区中落合4-31-1

目白大学 社会学部 有元修一研究室 気付

学会 FAX 03-5982-7141

Eメール jimu@fuzokushi.jp

事務連絡はFAXまたはメールでお願いいたします。

振替口座 00150-6-72372

関東支部

近世史分科会

日時 8月25日(火) 18時～21時

場所 浅草文化観光センター4階小会議室

(台東区雷門2-18-9 雷門前)

発表 「吉徳資料室所蔵文献の紹介と講読」

小林すみ江氏

「柳澤信鴻著『宴遊日記』講読」(続)

松尾 政司 氏

近代史分科会

休会とします。

服飾史分科会

日時 8月20日(木) 18時～

場所 きれと着物土居「不思議」

駒込パークハウス地下一階集客室

(JR・地下鉄 駒込駅東口徒歩5分

TEL090-8774-0074)

題目 『後水尾院當時年中行事』

「(54才)一、女中懐妊の時、

こゝも月め着帯の日、云々」です。

※興味のある方、テキストは用意して

いますので、いらしてください。

関西支部

休会とします。

九州支部

日時 8月21日(金) 14時 現地集合

場所 九州国立博物館

(〒818-0118 太宰府市石坂4-1-2)

見学会 特別展および常設展の見学

特別展 「大英博物館展」

100のモノが語る世界の歴史

■編集より

現在『風俗史学』の刊行が遅延しております。

会員の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしており

ますことを深くお詫び申し上げます。次号、58号

はできるだけ早くの送付を目指しております。何

卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

原稿募集

『風俗史学』では以下のテーマに関する原稿を

募集しております。

① 昭和の風俗に関する論稿、

② 戦争と風俗に関する論稿、

③ 災害と風俗に関する論稿

もちろん一般原稿の投稿も受け付けておりますの

で、奮って投稿してください。

投稿規定はホームページまたは雑誌目次の裏面を

ご覧ください。(編集担当)

■第56回大会・総会開催のお知らせ

平成27年度の第56回日本風俗史学会大会・総

会は関東支部主催で実施します。つきましては、

日時と場所、テーマについてご案内いたします。

テーマ「風俗史学からみる『昭和』」

―戦前・戦後二つの『昭和』の世相と風俗―

戦後70年を風俗史学としてどう捉えていくかをベースにテーマを立ててみました。昭和の風俗をただ単に回顧するだけではなく、批判的に分析してどう研究テーマとして継承していけばいいのか、問題提起型の議論を打ち立ててみたいと考えています。

戦前と戦後では日本人を取り巻く生活も思想も文化も大きく変わりました。風俗の変化とは何か。風俗として変化したもの、変化しなかったものなど風俗史学として捉えられる知見を現代にどのようにフィードバックすることができるのかを検討してみたいと考えます。

以上のような視点で、まずは戦前と戦後(経済成長前あたりまで)の軸で研究発表してください。方を募集します。

また、このテーマはさらに高度経済成長期から昭和の最後までを対象にして、継続的に取り組んでいく予定です。

総会 11月21日(土) 午後

講演 成田 龍一氏(日本女子大学教授)

研究発表 11月22日(日) 10時

午前 自由発表 3人募集

午後 テーマ発表 4人募集・討論

見学会 11月23日(月・祝) 詳細未定

開催場所 千代田区立日比谷図書文化館

小ホール

(関東支部長 鈴木 章生)